

安中市総合計画（後期基本計画）策定のための 市民アンケート調査の結果概要

現在、本市では、まちづくりを進めていくために最も基本となる「総合計画」の一部を見直し、後期基本計画を策定しています。そこで、本市の現状や将来について、市民の皆さんにご意見やお考えを伺い、今後の計画に反映させていくため、市民アンケート調査を行いました。この冊子では、調査の結果概要をお知らせします。

○調査対象：20歳以上の市民の皆さんから無作為で抽出した2,000人

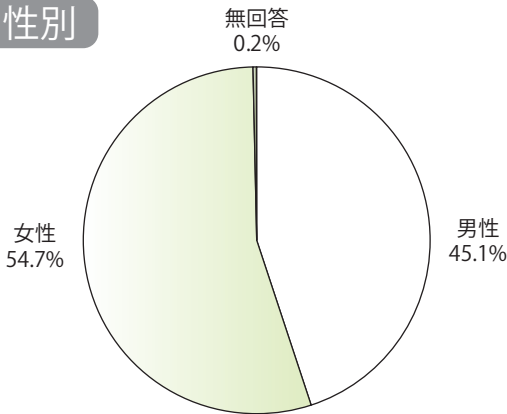
○実施期間：平成23年12月中旬～平成24年1月中旬

○回収率：40.8%

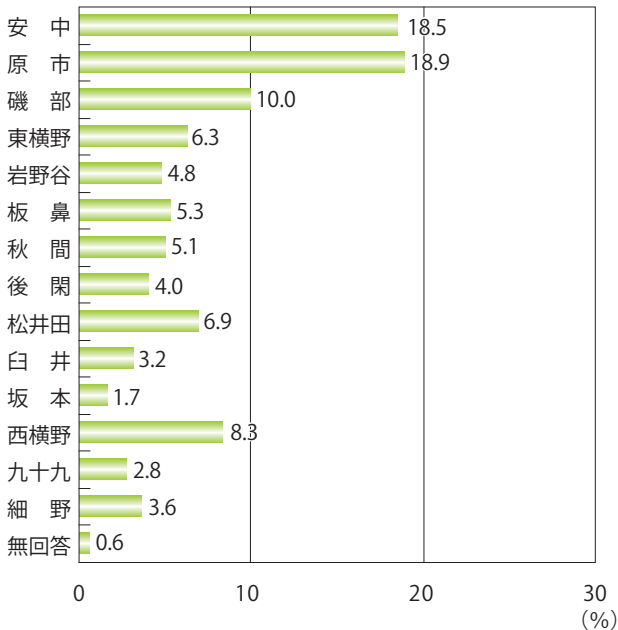
(注) 各設問の回答割合(%)の合計は、端数処理の関係上、100%を上下する場合があります。また、回答割合(%)はアンケートの回答者数を母数としているため、複数回答の設問については、回答割合(%)の合計が100%を超えています。

I 回答者の属性

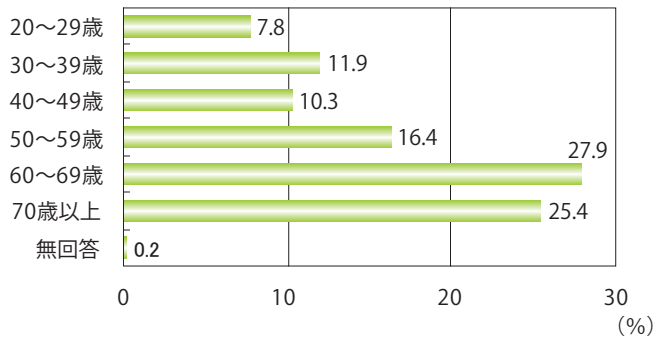
性別



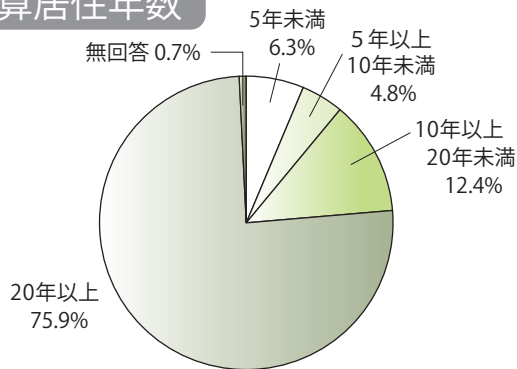
居住地区



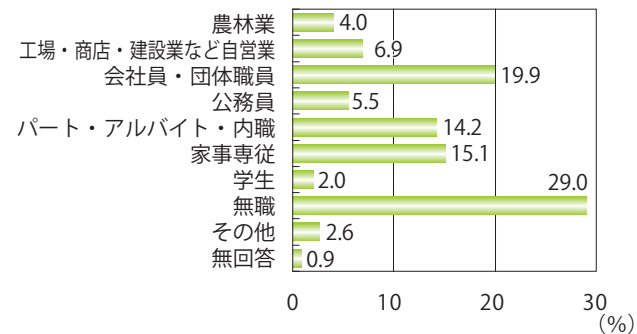
年齢



通算居住年数



職業

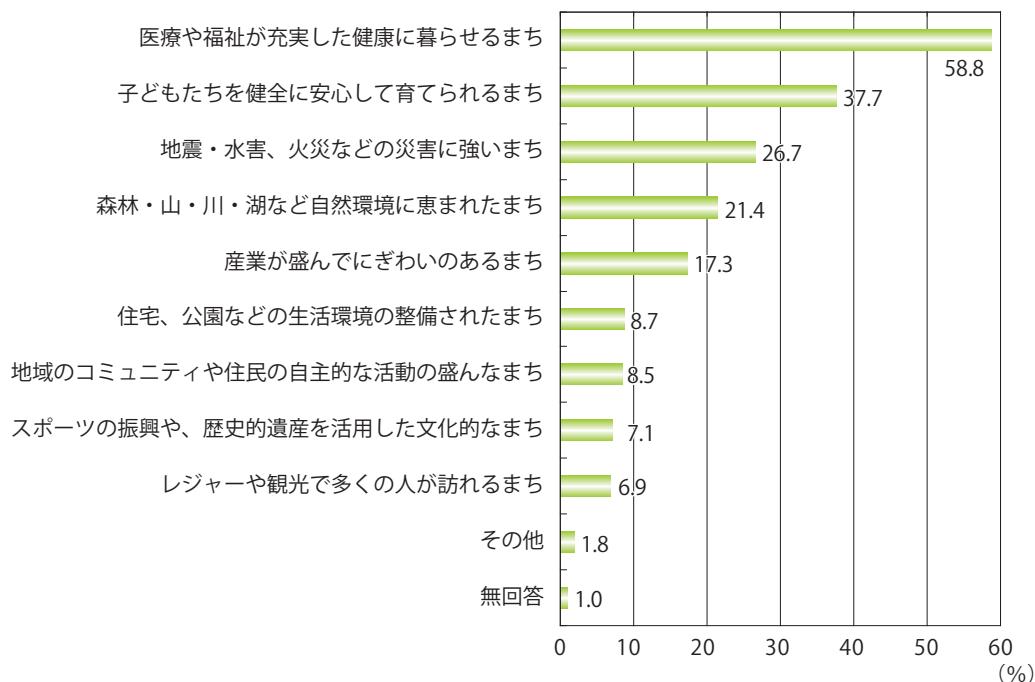


Ⅱ 今後の安中市について

【安中市の将来イメージについて】

将来の安中市がどのようなまちであってほしいと思いますか。（2つまで選択）

「医療や福祉が充実した健康に暮らせるまち」（58.8%）が最も多く半数以上に達しています。次いで「子どもたちを健全に安心して育てられるまち」（37.7%）、「地震・水害、火災などの災害に強いまち」（26.7%）が上位に挙げられています。

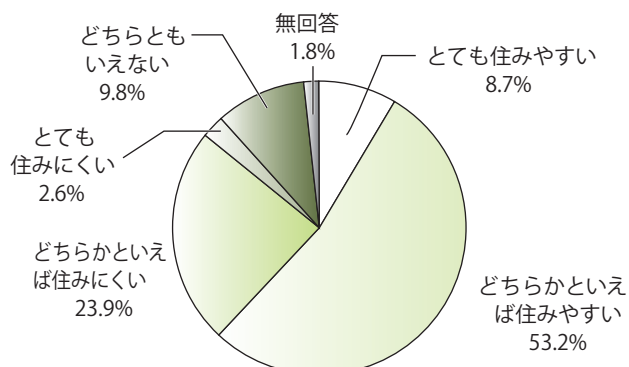


Ⅲ 安中市の住みやすさについて

【現在の住みやすさについて】

あなたにとって、安中市は住みやすいですか。（1つ選択）

「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計は61.9%に達しています。一方、「とても住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計は26.5%で、安中市は概ね住みやすいと評価されています。



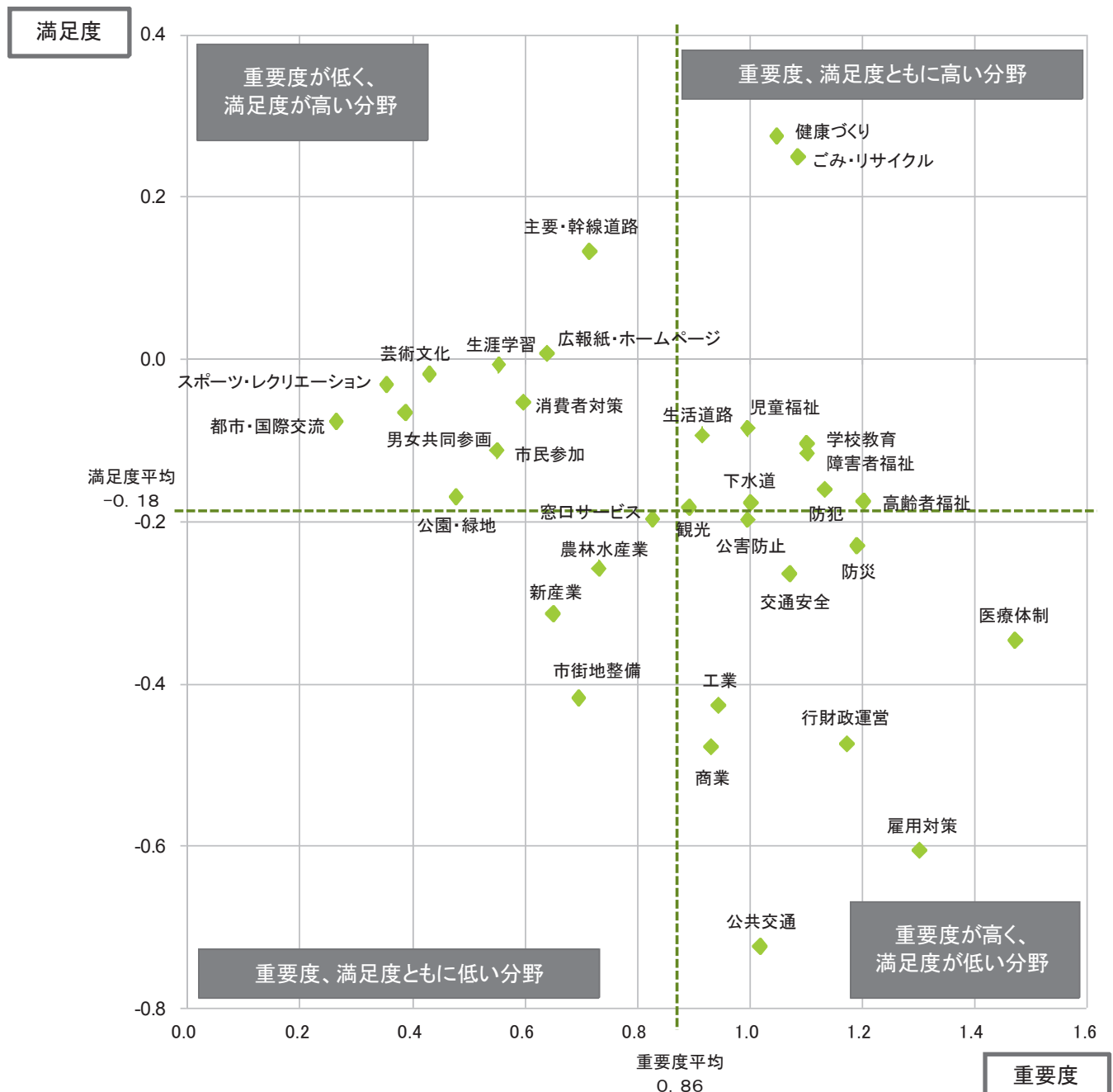
Ⅳ まちづくりの施策について

【施策の重要度・満足度について】

安中市が現在取り組んでいる次のような行政施策について、どのくらい重要だと思いますか。
また、現在どのくらい満足していますか。（1つ選択）

行政施策33項目について、重要度と満足度それぞれ5段階で評価を求めました。その結果、“重要度が高く、満足度が低い分野”は「医療体制」「雇用対策」「公共交通」「行財政運営」となっています。これと対照的に“重要度が低く、満足度が高い分野”は「主要・幹線道路」「広報紙・ホームページ」などとなっています。

このほか、“重要度、満足度ともに高い分野”は「健康づくり」「ごみ・リサイクル」、
“重要度、満足度ともに低い分野”は「農林水産業」「新産業」「市街地整備」となっています。

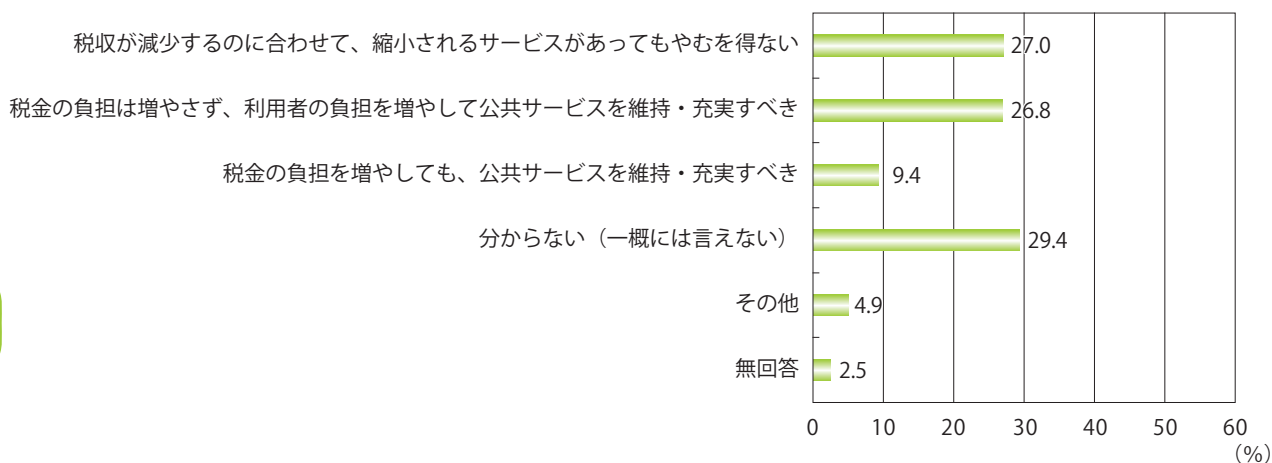


V 分野ごとの計画課題について

【公共サービスのあり方について】

今後、人口減少・少子高齢化などが進行することにより、市の税収が減少し、現在のサービス水準を維持できなくなる恐れがあります。もし、そのようになった場合の公共サービスのあり方について、どのようにお考えになりますか。（1つ選択）

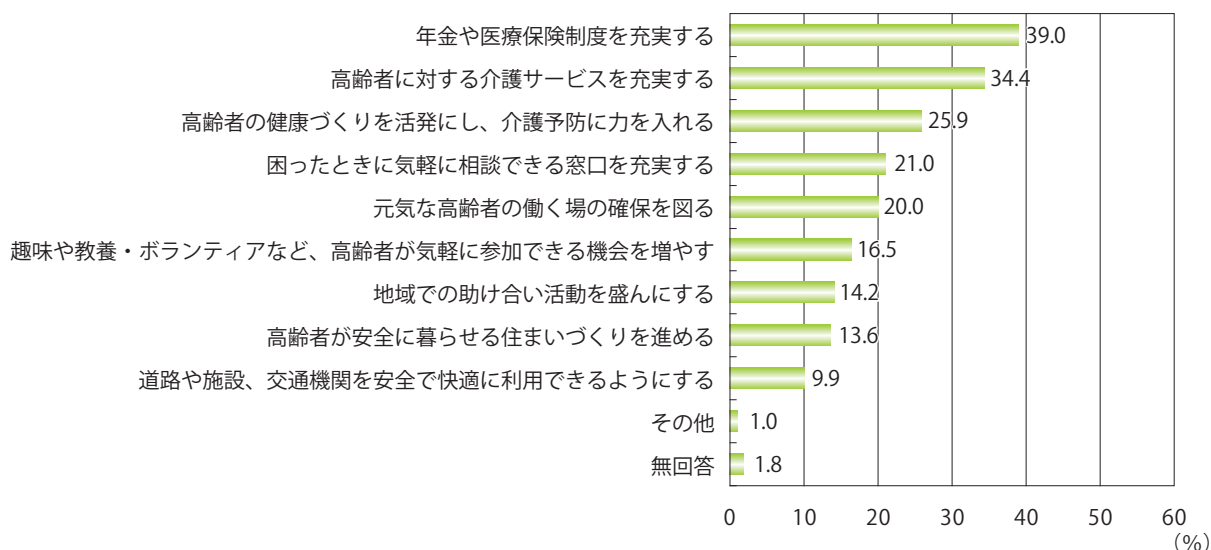
「税収が減少するのに合わせて、縮小されるサービスがあってもやむを得ない」（27.0%）と「税金の負担は増やさず、利用者の負担を増やして公共サービスを維持・充実すべき」（26.8%）が同程度となっています。



【高齢化への対応について】

高齢者が安心して生き生きと過ごせるまちにするために、どのようなことが大切だと思いますか。（2つまで選択）

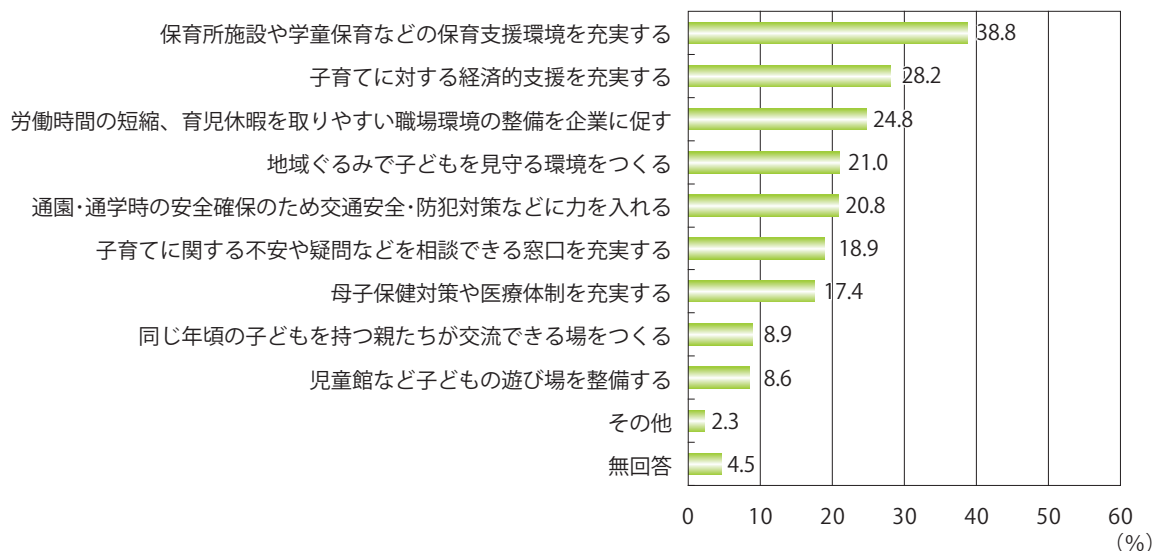
「年金や医療保険制度を充実する」（39.0%）が最も多く、次いで「高齢者に対する介護サービスを充実する」（34.4%）となっており、高齢者の暮らしを保障する各種制度と行政サービスが大切と考えられています。また、「高齢者の健康づくりを活発にし、介護予防に力を入れる」「困ったときに気軽に相談できる窓口を充実する」など、日頃から心身の健康を保つための施策も求められています。



【少子化への対応について】

子育てのしやすいまちにしていくなめには、どのようなことが大切だと思いますか。（2つまで選択）

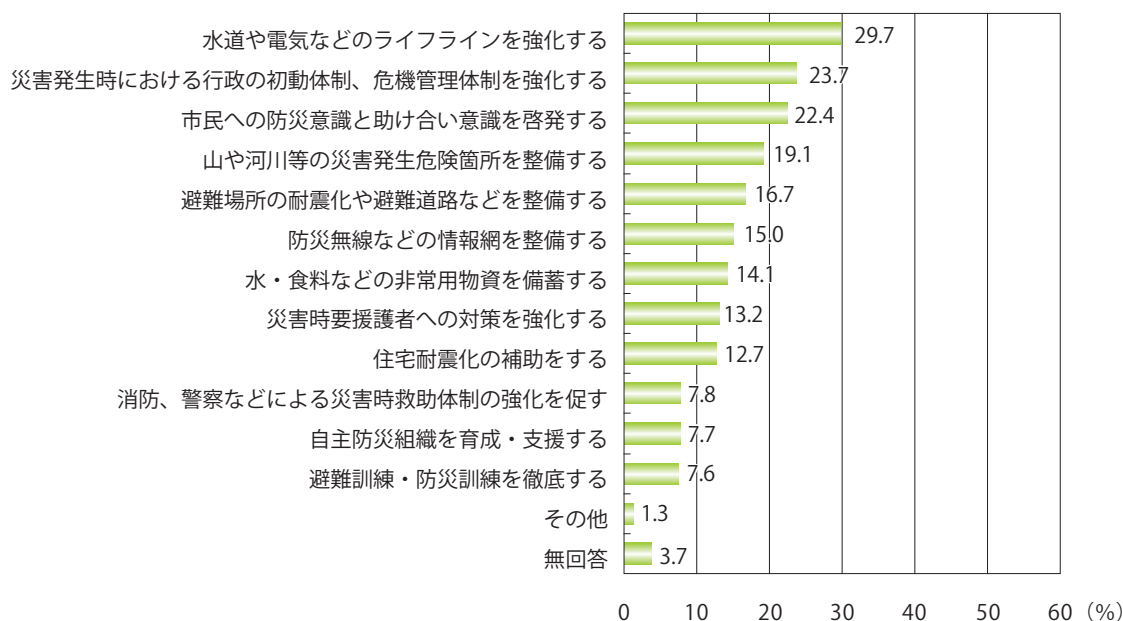
「保育所施設や学童保育などの保育支援環境を充実する」（38.8%）が最も大切と考えられています。次いで「子育てに対する経済的支援を充実する」や「労働時間の短縮、育児休暇を取りやすい職場環境の整備を企業に促す」が多く、経済的支援や職場環境の改善が必要とされています。また、子どもを巡る犯罪や交通事故の多発から、「地域ぐるみで子どもを見守る環境をつくる」や「通園・通学時の安全確保のため交通安全・防犯対策などに力を入れる」も重要と考えられています。



【防災・災害対策について】

災害に強いまちにしていくなめには、どのようなことが大切だと思いますか。（2つまで選択）

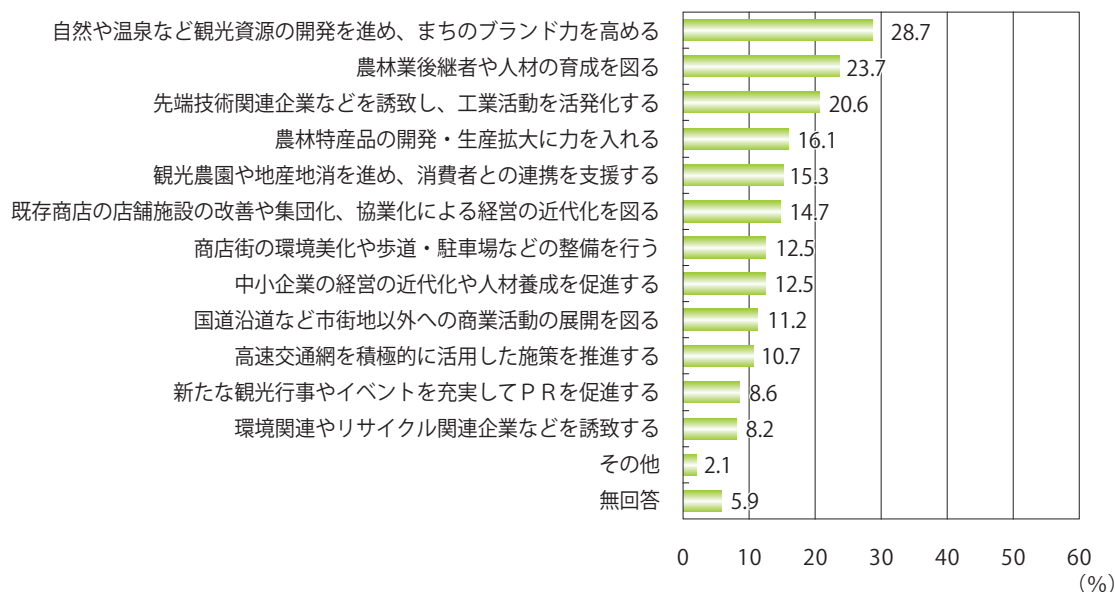
「水道や電気などのライフラインを強化する」（29.7%）が最も多く、次いで「災害発生時における行政の初動体制、危機管理体制を強化する」（23.7%）となっており、災害への備えと災害時の行政の体制づくりが大切と考えられています。また、「市民への防災意識と助け合い意識を啓発する」（22.4%）という市民の意識向上の大切さも認識されています。



【産業振興について】

安中市の産業を振興させるために、特にどのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。
(2つまで選択)

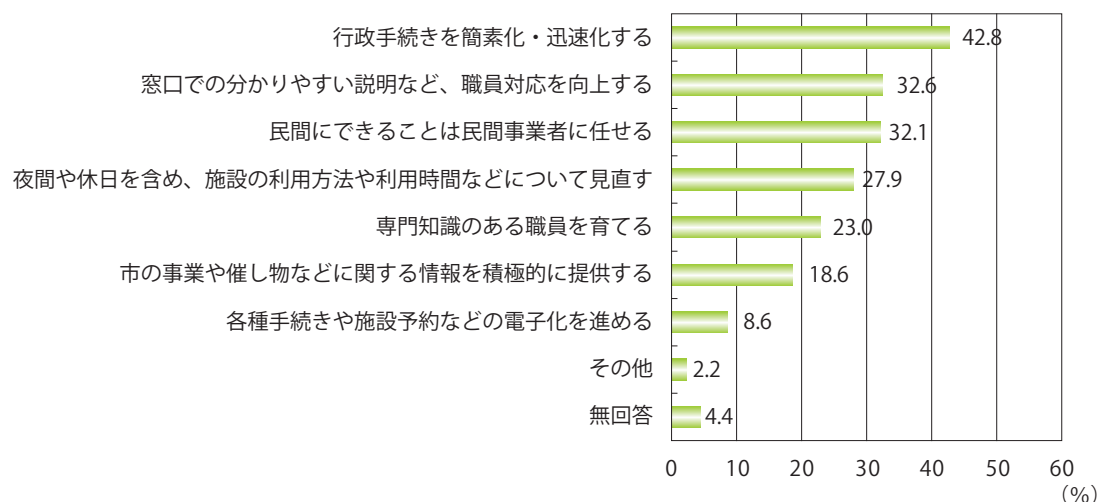
「自然や温泉など観光資源の開発を進め、まちのブランド力を高める」(28.7%)が最も多く、次いで「農林業後継者や人材の育成を図る」「先端技術関連企業などを誘致し、工業活動を活発化する」が多くなっています。まちの資源を活かした観光、農林業後継者の育成、工業の活発化などが求められています。



【行政サービスの向上について】

行財政改革を進め、行政サービスを向上していくために、市役所はどのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(2つまで選択)

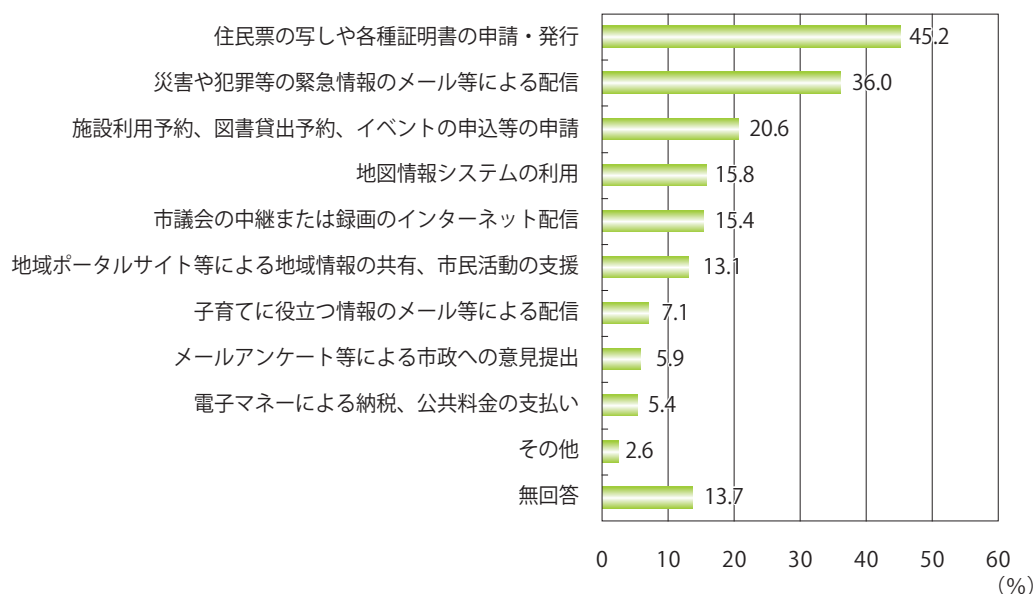
「行政手続きを簡素化・迅速化する」(42.8%)が最も多く、行政手続きの方法を改善することが求められています。次いで「窓口での分かりやすい説明など、職員対応を向上する」「民間にできることは民間事業者任せ」が30%を超えているほか、「夜間や休日を含め、施設の利用方法や利用時間などについて見直す」が30%近く挙げられており、行政には分かりやすさと利用しやすさが求められています。



【情報化について】

パソコンや携帯電話などの情報通信機器を使って、どのようなことがより便利になれば良いと思いますか。(2つまで選択)

「住民票の写しや各種証明書の申請・発行」(45.2%)が最も多く、次いで「災害や犯罪等の緊急情報のメール等による配信」(36.0%)となっており、電子申請や災害情報等の配信へのニーズが高くなっています。一方、「無回答」(13.7%)が他の設問と比べて多くなっており、情報化について周知を進めていく余地があることもうかがえます。

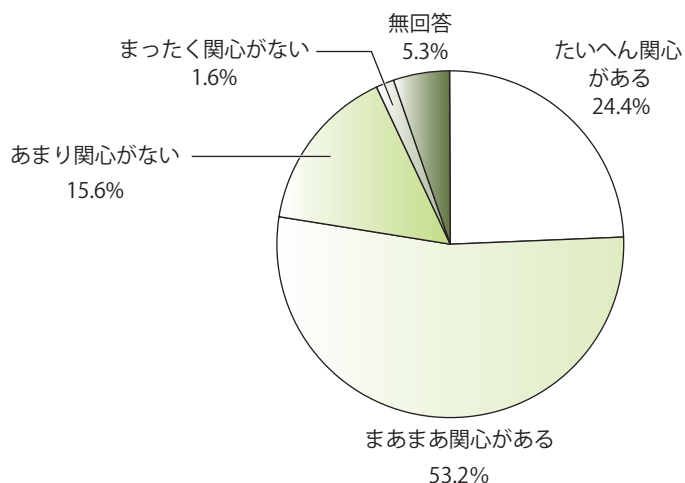


Ⅵ まちづくりへの市民参加について

【まちづくりへの関心について】

あなたは、安中市のまちづくりに関心がありますか。(1つ選択)

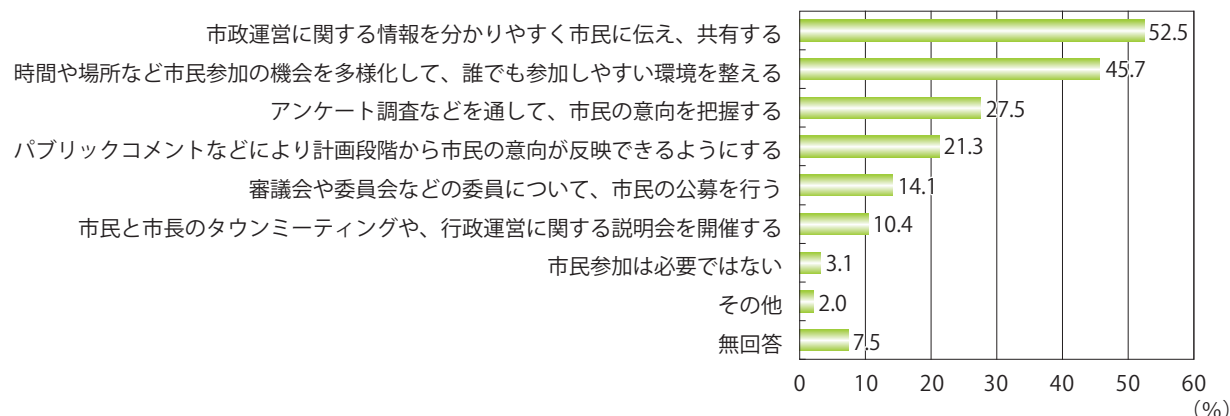
まちづくりに「たいへん関心がある」と「まあまあ関心がある」の合計は77.6%に達しており、市民のまちづくりへの関心が高いことがわかります。



【市民参加の方法について】

まちづくりへの市民参加を盛んにするために、安中市はどのようなことに力を入れるべきだとお考えですか。（2つまで選択）

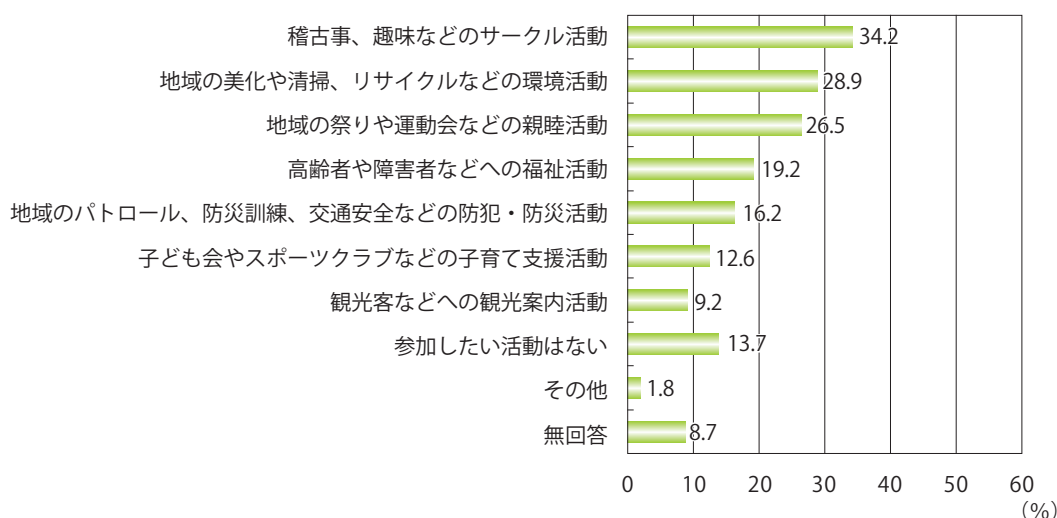
「市政運営に関する情報を分かりやすく市民に伝え、共有する」（52.5%）が最も多く、次いで「時間や場所など市民参加の機会を多様化して、誰でも参加しやすい環境を整える」（45.7%）となっており、市民との情報共有、市民参加の環境づくりが求められています。また、「アンケート調査などを通して、市民の意向を把握する」「パブリックコメントなどにより計画段階から市民の意向が反映できるようにする」が20%を超えており、市民意向を取り入れる仕組みづくりも必要と考えられています。



【参加したい地域活動について】

今後、参加してみたい（すでに参加しているものを含む）地域活動がありますか。（2つまで選択）

「稽古事、趣味などのサークル活動」（34.2%）が最も多く、次いで「地域の美化や清掃、リサイクルなどの環境活動」と「地域の祭りや運動会などの親睦活動」がともに25%以上となっています。福祉や防災などの活動よりも、趣味の活動、清掃や祭りなどの地域活動への関心が高いことが分かります。一方、「参加したい活動はない」が10%を超えていることから、今後も、地域活動の裾野を広げるための啓発活動が必要と考えられます。



お問い合わせ先：安中市総務部企画課企画調整係

☎ 382-1111（内線1021・1022）